

第 60 回アジア開発銀行年次総会の国内開催候補地に 愛知・名古屋が選定されたことに対する知事コメント

本日、財務省が、2027 年に開催される第 60 回アジア開発銀行年次総会の国内開催候補地として、愛知・名古屋を選定したことを発表しました。日本経済の成長エンジンである当地域の強みや充実した M I C E インフラを評価いただき、大変光栄に思っております。

アジア開発銀行年次総会は、加盟する 69 の国・地域の財務大臣及び中央銀行総裁が一堂に会する国際会議で、3,000 人から 5,000 人程度が参加します。

世界的にも重要性、注目度が非常に高い会合であり、ここ愛知・名古屋で開催されることとなれば、大きな経済波及効果や国際的知名度、都市ブランドの向上につながるとともに、当地域とアジア各国の経済的な結びつきが強化される、またとないチャンスになると期待しております。

さらには、2026 年に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会から、2027 年の、この年次総会につなげることで、アジアや世界の交流拠点として、当地域の機能が一層高まります。

来る 5 月にイタリア・ミラノで開催される第 58 回年次総会において、愛知・名古屋での開催が正式に決定された暁には、当地域の魅力を発信するとともに、年次総会が円滑に運営されるよう、本県と名古屋市、経済界などが地域一丸となって準備を進め、開催を支援してまいります。

2025 年 2 月 12 日

愛知県知事 大村 秀章

〔 第 60 回アジア開発銀行年次総会
愛知・名古屋誘致推進協議会会長 〕